

◇ 標準塗装仕様書 ◇

ボンフロン株式会社

◇工法名	BF-R202/ボンフロンPC-20工法(新築・改修:旧塗膜を全面除去した場合)					
◇適用素地	コンクリート					
◇使用材料	素地調整剤	プールボンE-960	主剤	2.0 kg	24.0 kg / セット	
			硬化剤	6.0 kg		
			粉体	16.0 kg		
				シンナー	ℓ/缶	
	下塗1	プールボンE-921プライマー	主剤	10.0 kg	20.0 kg / セット	
			硬化剤	10.0 kg		
				ℓ/缶		
				シンナー	ℓ/缶	
	下塗2	プールボンE-225FK	主剤	12.0 kg	16.0 kg / セット	
			硬化剤	4.0 kg		
				ℓ/缶		
		プールボンEエポキシシンナー	シンナー	16.0 ℓ/缶		
	中塗1	プールボンF#2500	主剤	13.0 kg	14.0 kg / セット	
			硬化剤	1.0 kg		
				ℓ/缶		
		ボンフロンシンナー	シンナー	16.0 ℓ/缶		
	中塗2	プールボンF#2500	主剤	13.0 kg	14.0 kg / セット	
			硬化剤	1.0 kg		
				ℓ/缶		
	ボンフロンシンナー	シンナー	16.0 ℓ/缶			
上塗	プールボンF#2500クリヤー	主剤	13.0 kg	14.0 kg / セット		
		硬化剤	1.0 kg			
			ℓ/缶			
	ボンフロンシンナー	シンナー	16.0 ℓ/缶			

工程		使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
						工程内	工程間	
素地調整		躯体の劣化部分及び旧塗膜は、サンダーケレン、ブラスト、高圧洗浄、ハツリ工具等で完全に除去する。 欠損部分は、樹脂モルタル又はカチオン樹脂モルタル等で修復する。						
		プールボンE-960 主剤/硬化剤/粉体=2/6/16	—	0.09 ~ 1.10	2	—	6h以上	コテ
1	下塗1	プールボンE-921プライマー 主剤 / 硬化剤 = 10 / 10	—	0.17 ~ 0.21 0.21 ~ 0.28	1	—	15h以上	刷毛・ローラー エアレス
2	下塗2	プールボンE-225FK 主剤 / 硬化剤 = 12 / 4	専用シンナー 0 ~ 10	0.20 ~ 0.25 0.25 ~ 0.34	1	—	16h以上	刷毛・ローラー エアレス
3	中塗1	プールボンF#2500 主剤 / 硬化剤 = 13 / 1	専用シンナー 20 ~ 40	0.07 ~ 0.09 0.09 ~ 0.12	1	—	3h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
4	中塗2	プールボンF#2500 主剤 / 硬化剤 = 13 / 1	専用シンナー 20 ~ 40	0.07 ~ 0.09 0.09 ~ 0.12	1	—	3h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
5	上塗	プールボンF#2500クリヤー 主剤 / 硬化剤 = 13 / 1	専用シンナー 20 ~ 50	0.05 ~ 0.06 0.06 ~ 0.08	1	—	—	刷毛・ローラー エアレス
合 計					7			

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

【目的】 下塗り : エフロ防止・吸込防止・接着
下塗り : 外気遮断
中塗り : 耐候性・美観
中塗り : 耐候性・美観
上塗り : 耐候性・美観

注○) 上塗り 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
プールボンF#2500クリヤー	○				

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。
※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので
所要量を遵守して下さい。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点<<強・弱溶剤塗料共通>>【適応:無機系素地】